

論点等説明シート

事業名	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練の実施					
予算の状況 (単位:百万円)		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度要求
	予算額(補正後)	1,721	1,737	1,906	1,757	
	執行額	1,064	1,042	1,053		
	執行率	62%	60%	55%		

事業についての論点等

暫定

(事業の概要)

求職障害者の障害の重度化・多様化が進み、より対応の困難な障害者に対する手厚い支援が求められている。このような状況の下、求職障害者の就職を実現するための職業訓練の重要性が増していることから、国が都道府県と訓練に係る委託契約を結び、都道府県が事業の実施主体となり、企業、社会福祉法人、NPO法人、民間教育訓練機関等の多様な委託訓練先を活用し、障害者の住む身近な地域で訓練を実施することにより、障害者の職業能力の向上を図る。

【訓練コース】

- ・知識・技能習得訓練コース(知識・技能の習得)※障害者向デュアルシステムも実施可能
- ・実践能力習得訓練コース(企業等の現場を活用した実践的な職業能力の開発・向上)
- ・e-ラーニングコース(訓練施設へ通所困難者等を対象としてIT技能等の習得)
- ・特別支援学校早期訓練コース(内定を得られない生徒を対象として、在学中から実践的な職業能力の開発・向上)
- ・在職者訓練コース(雇用継続に資する知識・技能の習得)

【実施主体】

都道府県

暫定値

【実績】

訓練受講者数 2,517人(令和3年3月末時点)
 ※本年度訓練受講者見込み数 3,800人

(論点)

- ・就職率が目標を下回っており、要因を分析し就職率向上に向けた更なる取組が必要ではないか。
- ・障害者の自立に向け、成果指標について、就職率以外についても考えるべきではないか。
- ・受講者数が予算上の見込みを下回る状況にあり、訓練効果の高い実践能力習得訓練コースの充実を図る等、訓練機会の確保や受講者数の増加に向けた取組が必要ではないか。
- ・執行率向上に向けた更なる取組が必要ではないか。